

同志社英學校概則

又 6

9206

E61



同志社英學校概則

同志社英學校概則

本校創立以來、衰焉、易フル、已ニ十回ナルガ此間、我邦學界ノ變動ヲ觀察スルニ、世人ガ德育ノ貴重スヘキヲ覺知シ、又淺薄卑近ノ學ヲ賤メ、益深遠幽邃ノ學域ニ達セ、ト欲スルノ傾向ヲ見ハス、カ如キハ、最顯著ナル我國近時ノ教育ニ於テ、一大欠點ニ過ギ、ノ就中、德育ノ如キハ、我國近時ノ教育ニ於テ、一大欠點タリシ、我儕ノ常ニ慨歎痛論セシ所ナルガ、今ヤ幸ニシテ、天下靡然トシテ、之ヲ渴望スルニ至ル誠ニ欣喜ノ至也、然リト雖、其方法成績ノ如何ニ至リテハ、我儕猶且隔靴搔痒ノ歎ヲ爲ス、フ抄トセズ、且淺近ノ學ヲ棄テ、愈深遠ナル學域ニ達セ、ト欲スルニ當リテモ、ヨク其願望ヲ滿タスヘキ學校ハ、何處ニアリヤ、實ニ晨星不啻ノ形況ニシテ、完全ナル高等學校ノ寡少ナルハ、又是我邦教育上ノ一大欠點ト謂フヘキ也、於是乎、我儕ハ常ニ此等ノ欠點ニ注目シ、或ハ教員ヲ増シ、或ハ學科ヲ改正シ、書籍學器ノ設置ヨリ以テ、校舍ノ建築ニ至ルマテ、愈益改良ヲ加ヘ、終ニ完全ノ地位ニ達セ、ト其子弟ノ來學ヲ促サ、レ、ト我君ハ左ノ概則ヲ熟覽アリテ、

儕ノ切ニ冀望スル所也
 明治十八年
 第一條 本校ハ正則英語ヲ以テ諸學課ヲ教授シ且和漢文學ノ一科ヲ加ヘ專ラ作文ヲ修習セシム
 第二條 當今教授スル所ノ學科ハ左ニ記載ス學業進步ノ便宜ニ依リ臨時ノ改正ヲナスコトモアルベシ

英 生 科 目		第一 年	第一 期
英 語 會 話	福 音 書	每 日	第 壹 并 第 二
英 文 法 スウ # シ ト ン	、	、	第 三 并 第 四 讀 本 マ ツ ッ シ ゴ フ # 一
米 國 史 ベ ラ ル ド	、	、	二 回
大 地 理 書 ギ ヨ ー	、	、	英 文 典 スウ # シ ト ン
地 文 學 ギ ヨ ー	、	、	三 回
	、	、	二 回 (但シ 隨 意)
	、	、	筆 算 デ ヴ # ス
	、	、	代 數 ル ー ミ ス

入校退校ノ則
 第一條 本校ノ諸規則ニ從ヒ入學ヲ求ムル者ハ左ノ科目ニ於テ試験ヲ受クベシ年齢滿十三年以上ノ者ニ限ル可キ

備ノ切ニ冀望スル所也
 明治十八年
 第一條 本校ハ正則英語ヲ以テ諸學課ヲ教授シ且和漢文學ノ一科ヲ加ヘ専ラ作文ヲ修習セシム
 第二條 當今教授スル所ノ學科ハ左ニ記載ス學業進歩ノ便宜ニ依リ臨時ノ改正ヲナスコトモアルベシ

學 漢		科		通		普		學		英	
第四年	東萊博議	邦語演說	和漢文	和漢文	英語演說	和漢文學	英語會話	英語會話	英語會話	英語會話	英語會話
第三年	文章軌範	邦語演說	和漢文	和漢文	英語演說	和漢文學	英語會話	英語會話	英語會話	英語會話	英語會話
第二年	米國史ベラルド	邦語演說	和漢文	和漢文	英語演說	和漢文學	英語會話	英語會話	英語會話	英語會話	英語會話
第一年	第壹并第二	邦語演說	和漢文	和漢文	英語演說	和漢文學	英語會話	英語會話	英語會話	英語會話	英語會話
第四年	東萊博議	邦語演說	和漢文	和漢文	英語演說	和漢文學	英語會話	英語會話	英語會話	英語會話	英語會話
第三年	文章軌範	邦語演說	和漢文	和漢文	英語演說	和漢文學	英語會話	英語會話	英語會話	英語會話	英語會話
第二年	米國史ベラルド	邦語演說	和漢文	和漢文	英語演說	和漢文學	英語會話	英語會話	英語會話	英語會話	英語會話
第一年	第壹并第二	邦語演說	和漢文	和漢文	英語演說	和漢文學	英語會話	英語會話	英語會話	英語會話	英語會話

第七條 通學生徒ハ當市中ニ於テ其父兄或ハ近親アル者ニ限ルベシ

第八條 新入生徒募集ノ期ハ每年九月上旬ト定ム

但シ他所ニ於テ既ニ幾分カ英學ノ修業ヲナシ先入生徒ト共ニ進ミ得ルノ見込アル輩ハ試験ノ上何時タリモ入校ヲ許スベシ

第九條 入學セント欲スル者ハ寄宿通學ヲ論セス入校ノ時束脩トシ金一圓ヲ納ム可シ

第十條 生徒ハ寄宿通學ノ別ナク授業料トシ每期數圓ノ額ニ明テ金貳圓五拾錢ヲ納レ入塾生ハ又食料トシ毎月三圓ヲ納ムベシ

但シ食料ハ物價ノ高抵ニ從ヒテ増減スルコトモアルベシ

第十一條 半期以前ニ入塾スル者ハ必ス全期ノ授業料ヲ納ム可シ半期以後ニ入塾スル者ハ全期授業料ノ半額ヲ納レシム

入校退校ノ則

第一條 本校ノ諸規則ニ從ヒ入學ヲ求ムル者ハ左ノ科目ニ於テ試験ヲ受クベシ年齢滿十三年以上ノ者ニ限ル可キ

但シ事宜ニヨリ滿十三年以下ノ者ニ入校ヲ許スコトモアルヘシ
 講讀 日本外史若クハ十八史畧
 作文 普通片假名交リヲ云フ(文体ノ記事論說文
 數學 筆算分數ノ終リ迄
 第二條 入學ノ節ハ其父兄或ハ身元慥ナル者ヲ以テ証人ト爲シ其保証狀并ニ種痘若クハ天然痘ノ証符ヲ携ヘ且本籍所在ノ戸長ヨリ當校ヘ寄留ノ証書(通學生ハ寄留証ヲ要セス)ヲ請得テ來校スヘシ
 但シ保証人ハ成ル丈ケ當府内ノ人ヲ擇ベシ若シ証人移住セハ其趣ヲ直ニ申出テ置クヘシ
 諸証書ハ本校庶務局ヘ差出スベシ
 証書雛形 但シ用紙ハ野紙ニシテ証券印紙ヲ貼用スベシ

保証狀

何府 何縣 何國 何郡 何區 何町 何番地
 何府縣華士族平民何誰子弟
 何 明治何年何月

右今般入校相願候上ハ御校規●學則等堅ク爲守可申候儀ハ勿論當人ノ所業ヨリ起リ候一切ノ事件ハ拙者引請可申候尤モ退校ノ節ハ拙者罷出ルカ又ハ証書ヲ以テ御斷リ可申上候依テ証書如件
 何府縣華士族平民
 年 月 日
 証人 何
 誰印
 宿 所

同志社英學校々長新島襄殿

第三條 退校スルキハ証人ヨリ其趣ヲ委シシ認メタル証書ヲ庶務局ヘ差出シ校長ノ許可ヲ受クヘシ
 一 謝金 每期金貳圓五拾錢即チ一ヶ月金八拾錢位ノ割合ナリ
 一 月俸 金三圓 目今貳圓五拾錢
 一 外ニ入校ノ節束脩トシテ金壹圓ヲ納メ且其節入用ノ物品ヲ購求スルノ外筆紙墨燈油下駄傘入湯洗濯等ノ費用トシ金五拾錢ヨリ一圓ト見積リ書籍見料トモ合テ一圓七八拾

錢ヲ出ザルヘシ
 一 本校所用ノ教科書籍ハ相當ノ見料ヲ受ケ貸渡ト雖(第一
 年科ノ分ハ此限ニアラズ)自ラ購求ヲ望ムノ輩ニハ廉價ヲ
 以テ之ヲ得セシムルノ方法ヲ設ケタレハ卒業迄ノ(書籍料
 ハ)ウエブストル大辭書ニ合セテ四拾三四圓ニ過キサルヘ
 シ
 一 入校ノ生徒中少年ニシテ理財ニ慣レサル輩ハ金圓ヲ浪費ス
 ルノ憂ナキモ保証シ難クハ生徒ノ父兄又ハ引受人ヨリ
 委頼アラハ一二期分ノ所ハ本校庶務ニ預リ置キ凡ソ豫算
 表^ヲ超過セサル様注意ノ相渡スヘシ
 社員

- 京都府
 同
 新潟縣
 熊本縣
 京都府
 新島 襄
 山本 覺馬
 松山 高吉
 伊勢 時雄
 中村 榮助
 職員表
 校長 新嶋 襄

- 右歐米漫遊中
 教員 米國神學博士
 同 同 醫學博士
 同 同 醫學博士
 熊本縣
 京都府
 米國神學博士
 熊本縣
 米國醫學博士
 同
 漢學教員 岡山縣
 庶務 京都府
 上京區第拾組相國寺門前町壹番戶
 英語高等課
 京都府 新嶋 公義
 宮崎 新原 俊秀
 愛媛 堀 正義
 兵庫 辻 密太郎
 大坂 大坂 大坂
 代理 山本 覺馬
 デー、ジエー、デヴィス
 ドワイト、ダブリウ、ラルチーデ
 エム、エル、ゴルドン
 森田 久万人
 市原 盛宏
 デー、シー、グリーン
 下村 孝太郎
 シー、エム、ケデー
 エム、アール、ゲーンズ
 岡本 魏
 伏見 通
 同 志 社
 山岡 邦三郎
 松尾 熊夫
 湯淺 吉郎

邦語三年生
 宮崎 池袋清風
 岡山 馬場種太郎
 愛媛 小野忍
 岡山 加藤壽夫
 京都 辻壽夫
 京都 足立環
 岡山 木下金太郎
 愛媛 宮川富二郎
 靜岡 須田朋忠
 邦語 一年生
 岡山 西岡國松
 愛媛 富田元資
 岡山 留岡幸助
 同 片桐鱗太郎
 高知 小松金十郎
 群馬 中山光五郎
 同 上原權太郎

福岡 安永檢
 兵庫 阿部政恒
 福岡 宮原禮
 岡山 鹽見孝一郎
 同 江浪龜四郎
 高知 森嘉吉
 邦語特別生
 兵庫 西尾文亭
 同 二階堂圓造
 岡山 長田時行
 片桐 片桐清治
 上代 上代知新
 横田 横田勝治
 高橋 高橋優
 黒水 黒水龜
 眞鍋 眞鍋定造
 松村 松村竹夫
 松原 松原孫七郎

福岡 福岡
 兵庫 兵庫
 福岡 福岡
 岡山 岡山
 同 同
 兵庫 兵庫
 邦語特別生
 高知 高知
 同 同
 岡山 岡山
 同 同
 岡山 岡山
 大坂 大坂
 鳥取 鳥取
 群馬 群馬
 宮崎 宮崎
 愛媛 愛媛
 兵庫 兵庫
 福井 福井

大坂 安藤乙五郎
 熊本 酒井貞輔
 愛媛 菱田仲行
 普通科五年生
 岡山 原忠美
 鳥取 林方生
 熊本 澤山雄之助
 山口 山口
 同四年生
 愛媛 池内徳孝
 熊本 花島健起
 大坂 田中免毛
 同 大西千代吉
 新瀉 大宮貞之助
 岡山 梶川權一
 兵庫 川本音次郎
 同 辻孝次郎
 愛媛 中川虎二郎

福岡 山中仁一郎
 大坂 松波仁一郎
 增野 增野悦興
 坂齋 坂齋要吉
 齋藤 齋藤知行
 廣津 廣津友吉
 井上 井上清次郎
 豐田 豐田通憲
 依光 依光方成
 多賀 多賀太平
 繩田 繩田清太郎
 村田 村田榮治郎
 山路 山路一二
 矢口 矢口信太郎
 益田 益田時三郎
 愛媛 愛媛

福岡 福岡
 大坂 大坂
 岡山 岡山
 石川 石川
 高知 高知
 岡山 岡山
 同三年生
 大坂 大坂
 福岡 福岡
 岩手 岩手
 岡山 岡山
 東京 東京
 大坂 大坂
 福岡 福岡
 同三年生
 山中 山中仁一郎
 松波 松波仁一郎
 增野 增野悦興
 坂齋 坂齋要吉
 齋藤 齋藤知行
 廣津 廣津友吉
 井上 井上清次郎
 豐田 豐田通憲
 依光 依光方成
 多賀 多賀太平
 繩田 繩田清太郎
 村田 村田榮治郎
 山路 山路一二
 矢口 矢口信太郎
 益田 益田時三郎
 愛媛 愛媛

同 熊本 兵庫 熊本 福岡 同 青森 大坂 同 二年生

兼頭和東 佐藤忠順 三谷種吉 志垣要三 白木正藏 海老名一郎 望月興三郎 市川貞信 萩原久造 西村周三郎 奥野武之助 岡本彦八郎 奥太一郎 岡田權二郎 大久保房二郎 川合良男

愛媛 福岡 東京 岡山 鳥取 京都 同 兵庫 同 愛媛 同 京都 同 大坂

吉田清太 淡輪勇三 津田次郎 露無文治 中西唯一郎 成瀬金一郎 上田周太郎 黑田惟允 安田保太郎 大和田博 山田直太郎 矢野廣太郎 安田勤次 藤枝鹿之助 遠藤能定 足立通衛 櫻井幹 喜多梅二郎

福岡 同 岡山 兵庫 群馬 岐阜 熊本 京都 大坂 同 三年生

清田茂吉 木原勇三郎 木山巖太郎 木村竹松 湯淺一郎 白木是 城貞太郎 平井文之助 鈴木英勇 今川恒吉 井上善吉 井上權之助 磯貝由太郎 萩原峯三郎 羽山正男 林恒太郎 西田三郎

愛媛 福岡 岡山 宮崎 愛媛 福岡 京都 岡山 同 兵庫 和歌山 岡山 兵庫 新瀨 愛媛 岡山 京都

堀小茲三郎 保高正記 堀林太郎 泥谷十吉 豐田重一 小河原初二郎 小野孝忠 岡部辰四郎 小野房太郎 岡本三逸 大石誠之助 大森茂一郎 大賀剛藏 岡本真知 大和田猪之平 太田次郎 阪東兵太郎

新瀨 福岡 廣鳴 京都 愛媛 岡山 石川 岡山 京都 岡山 大分 京都 同 同 同 熊本

柏木 義圓 加藤 延年 加藤 保太郎 河村 俊次郎 吉田 晴太郎 竹林 嘉平 高橋 菊二郎 高木 正則 竹林 房二郎 高木 安太郎 谷本 太一郎 津田 鍛雄 永松 吉二郎 中川 豐二郎 長野 位列 中江 注 村上 多門 上田 方直

高知 大阪 三重 群馬 愛媛 福岡 山口 京都 愛媛 京都 石川 岡山 三重 京都 岡山 同 京都

楠瀬 貫一 久保 田幸吉 松本 恒之助 藤卷 安太郎 藤井 武三郎 後藤 武壽男 有田 武一 赤崎 太一 赤井 直吉 有馬 達三 澤邊 四郎 篠島 勇吉 佐藤 慎一郎 酒井 辰二郎 齋藤 俊太郎 佐々木 健盛 佐藤 秀五郎 北小路 龍太郎

兵庫 熊本 宮崎 岡山 京都 愛媛 群馬 滋賀 岐阜 福岡

岸本 丑三郎 宮川 一男 城重 雄 水澤 郁太郎 人見 牧太 廣川 友吉 茂木 龜太郎 杉田 忠安 杉山 若馬 隅田 豹吉郎

縣 州 縣 縣 縣 縣 縣 縣
本 本 本 本 本 本 本 本

州 縣 縣 縣 縣 縣 縣 縣
本 本 本 本 本 本 本 本
正 一 重 大 太 吉 誠 變 興 流
流 民 縣 縣 太 吉 誠 變 興 流

(州縣商會會館印)

(印刷商報會社活版所)